

『明日』 作：ポチ子

明日の事を考えると、

心臓を横にギーっと引っぱったみたい。

今日は何もできなかった。

明日だって何もしたくない。

そう思うのに、

なにかしなければいけない、

それを義務のように感じて苦しくなる。

床に寝転がってみても、

声を出して部屋に文句を吐き出しても、

ずーっと痛いまま。

勝手に涙が出てくるけど、

これはきつと自分のせいだ。

頑張れないのが、

頑張らないのが、

いけないと責めたところで、

私は何も変わらない。

そんな自分が心底嫌になる。

どんなに望まなくても明日は来てしまう。

その事実を受け入れるのには、まだ時間がかかりそうだ。

— 終わり —